

地域人材の育成と地元就業を支援する

第2号

平成29年8月



# かごしまCOC+通信

KAGOSHIMA COC+ NEWSLETTER

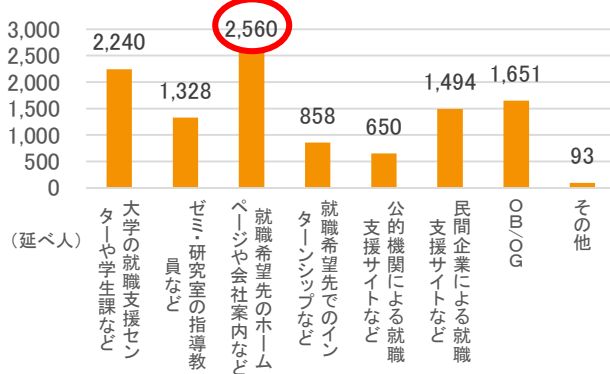
かごしま学卒者  
地元定着促進協議会

## 「学生の就職活動における情報活用に関する調査」から（抜粋）

### 本当に「都会の方が豊かな生活が実現できる」のか！

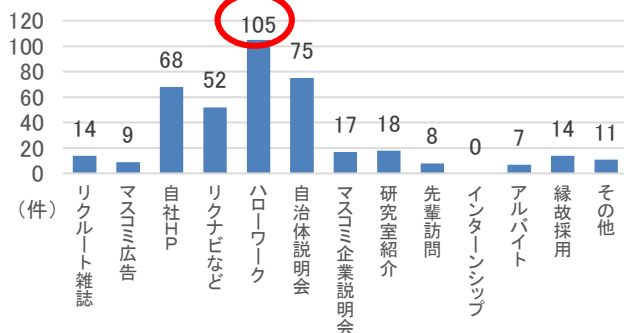
学生の求める情報と地元企業が提供する情報のマッチングを図るため、昨年10月～11月、COC+参画校8校の学生（大学3・4年生、短大1・2年生、高専4・5年生）に対して、質問紙による方法でアンケート調査を実施しました。（7,413人に配布し、3,958人から回答。回収率53%）

就職先検討の際の情報源について



就職先を検討する際、よく利用する情報源を3個選択で質問した。学生の情報源は、企業のホームページや就職支援センターなどが上位にあり、リクナビなど民間や公的機関の支援サイトより、先輩などの助言が期待されていることが分かる。

【求人情報のルート調査（平成28年12月）】



学生アンケートとほぼ同時期に行った企業調査で募集方法について尋ねた。（回答237社、回収率19%）ハローワークや自治体などの公的機関による説明会や紹介を活用しているが、学生はそのような媒体にあまり注力していない。企業もHPによる公知を考えているが、学生もその活用度は高いので、HPの内容の充実が大切である。

就職先の決定に当たり重視するものについて



5個選択で質問した。「福利厚生」、「安定性」「給与や年収」が上位に並んでいるが、有給休暇や育児休暇などの福利厚生の充実が最も重要視されていることが分かる。また、「職場の雰囲気」と「事業内容の充実度」が続いていることから、職場環境がよいことや、学生が就職した際にモチベーションが上がるような業務内容を示せるかが重要である。

#### < 考察 >

学生は、地元企業の情報に接する機会が少ない上に、「地元には自分の夢を実現できる企業が少ない」「都会の方が豊かな生活が実現できる」といった思い込みがあるとの分析もある。一方、地元企業側から学生への情報発信力やアピール力など学生へのアプローチの弱さが指摘されている。

この調査結果を基に、企業側は学生の期待を受け止め、情報を積極的に提供いただくとともに、学生が求める就業条件への対応に生かしていただければありがたい。また、大学側も企業情報を積極的に伝えていくことが大切である。